

意外と知らない歯科知識

11月8日はいい歯の日

口腔機能の低下と発達不全は定期健診でチェックを！
～口唇圧検査、舌圧検査で早期に発見しましょう～

毎年11月8日は11(いい)8(歯)の語呂を合わせ、1993年に日本歯科医師会によって「いい歯の日」として「8020運動」の環として制定されました。歯科検診を、幅広い年代に歯の大切さを知ってもらおうという趣旨のもとに誕生しました。国民皆歯科検診制度が政府の骨太の方針に盛り込まれ、口腔の健康が特に重視されています。今回は成人のオールコンディショニングと小児の口育についてお話をお聞きました。

口育とオールラル コンディショニング

定期検査を受けるこ

とは、口腔機能の低下(成人)や発達の遅れ(小児)を早期に発見するために欠かせません。子どもは呼吸、発語、食行動、栄養状態などの正常な発達を促すのが口育です。歯の生え方や顎の成長、噛み合わせの状態もチェックし、必要に応じて咬合育成を行います。

口口の健康は全身の健康に深く関わります。小児期には咬合育成や舌の正しい位置を獲得することが歯列の発育に欠かせません。成人では舌や口腔内の筋肉を整え、嚥下や低位舌を改善して呼吸から鼻呼吸にし、唾液分泌を改善することがオールラルコンディショニング

を防ぎ、姿勢がよくなり、美容効果も期待できます。11月8日の「いい歯の日」をきっかけ

に、ぜひ口腔内の検診を受けてみましょう。

口腔機能発達不全症

令和2年の保険改定から、小児の口腔機能発達不全症の病名ができました。嚙んだり飲み込んだりが上手でない、口呼吸があるなどの状態を口腔機能発達不全症といい、口腔筋機能療法(MFT)で改善できます。

小児期は「食べる機能」「話す機能」「嚥下、呼吸機能」が成長発達途中にあり、正常な機能獲得ができていないかを評価することが重要です。又、永久歯が正しく生え良い歯並びとなる為には乳歯の萌出状態、顎と歯と口の発育状況を定期的に検査することが必要です。

口腔機能低下症

「オールラフレイル」

加齢や病気などで嚙む・飲み込む・話す・唾液分泌といった口腔機能が低下する状態をオ

ールラフレイルといいます。放置すると低栄養や免疫力低下、生活習慣病リスクの増加し

要介護につながる為、早期発見が重要です。65歳以上は口腔衛生・咬合力・舌口唇運動・舌圧・咀嚼・嚥下機能口腔乾燥など7項目を検査し、3つ以上異常があると口腔機能低下症と診断されます。本来の機能を引き出すオールラルコンディショニングでは、咀嚼筋や舌のストレッチで血行や唾液分泌、低位舌、誤嚥予防などオールラフレイルに有効です。

「いい歯の日」 わくわくプレゼント

今年の「いい歯の日」の期間中当院で定期検診(舌圧検査、口唇圧検査)でシティライフを見て来院された患者様には「はみがき先生」のハミガキグッズをプレゼントします。ぜひこの「いい歯の日」にお口の中を見直す機会にしてください。

この先生に聞きました！



朝倉歯科医院
歯科医師
食育アドバイザー
出口 裕子



朝倉歯科医院
副院長 歯科医師
大阪大学臨床研修指導医
佐藤 典子



朝倉歯科医院
院長 歯学博士
大阪大学臨床研修指導医
朝倉 勉

歯科セカンドオピニオン外来

SAS・口内炎・インプラント、金属アレルギー・入れ歯・咬み合わせ・歯周病・矯正・審美補綴・障害者診療・訪問診療などはお気軽にご相談ください。相談は朝倉院長がお聞きます。

☎0120-468-321
com21adc@gold.ocn.ne.jp

朝倉歯科医院 / 小児歯科Happy club / ホワイトニングサロンBLANCA

インプラント審美補綴研究所 大阪大学歯学部臨床研修施設

茨木市南春日丘1-1-19
朝倉デンタルビル
春日丘交番隣り
JR茨木駅より近鉄バス
阪大病院行き5分
「春光園(朝倉歯科医院前)」下車
☎072-625-2001 (代表)



セカンド
オピニオン外来

